

# 2月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和6年2月末現在〕

令和6年3月13日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」は悪化し、「売上高」、「収益状況」は改善した。

業種別でみると、製造業、非製造業ともに「景況」は悪化し、「売上高」は改善した。「収益状況」は、製造業では不変であったが、非製造業で改善した。

前月に引き続き、エネルギーや原材料等の価格高騰が続き、上昇分を十分に価格転嫁できず、収益確保が厳しいという報告が見られた。

## 景況DI

製造業は、前月比15.4ポイント悪化の▲30.8ポイント、非製造業は、前月比13.4ポイント悪化の▲21.7ポイント、全体では、前月比14.5ポイント悪化の▲26.5ポイントとなった。

## 売上高DI

製造業は、前月比3.8ポイント改善の▲23.1ポイント、非製造業は、前月比13.0ポイント改善の13.0ポイント、全体では、前月比7.9ポイント改善の▲6.1ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比変化なしの▲30.8ポイント、非製造業は、前月比3.4ポイント改善の▲17.4ポイント、全体では、前月比1.5ポイント改善の▲24.5ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	学校給食パン	県内の学校給食におけるパンの提供回数減少に歯止めがかからない。地域によっては前年同月比で12%以上の回数減の報告もある。前年との曜日の関係で単純に比較はできないが、ここ数年における地元産米の給食回数の増加が要因と考えられる。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県1月の清酒課税移出数量は、前年同月比94.9%であった。本格焼酎については、同142.6%であった。主力の清酒は高級酒の吟醸酒や純米酒が伸びて普通酒が大きく落ち込んでいることから、消費者の消費行動に変化が出ていると考えられる。清酒愛好家が消費を増やして、それ以外の人の日本酒離れが一層進んでいると考えられる。 ○県内当業界について 今季の酒造りも終盤に入ってきて、現在酒蔵では高級酒の吟醸酒造りに注力している先が多い。吟醸酒は酒米専用の酒造好適米を60%以下に精米して造る酒である。高精米にするため酒の造りに米の品質が大きく影響を及ぼす。令和5年産の茨城県産「ひたち錦」については夏の高温障害により、1等米比率3%、3等米比率87%と史上空前の低品質であった。「ひたち錦」3等米だと「コシヒカリ」1等米より価格が安く、農家としても耕作意欲が落ち、作付を止めてしまう農家も出てきている。日本酒の販売量が落ちている中で、高温障害による低品質原料米での酒造りの難しさと原料米の安定した調達にもリスクが生じてきている。
	納豆	土産品としての納豆は、2月中旬から梅まつりが始まり、比較的出足は悪くないようである。但し、今年は気温が高い影響を受け、梅の開花状況が早い事が原因として考えられるので、来月の状況を注視している。また、量販店向けメーカーからは、特に意見等寄せられていないので大きな変化はないというところであろうか。そのほかの状況も大きな変化は感じられない。
	菓子	販売価格を10%上げたが、売上高は実質10%の落ち込みである。
	漬物	前月同様2月もあまり動きがないように思う。現状維持である。
繊維工業	県北地区外衣シャツ	新年度までの見通しが不透明である。人員の確保に苦慮している。
木材・木材製品	製材	・国産材製品は需要不足の影響で荷動きが悪い。製品価格は弱含みで推移した。 ・外材も荷動きが悪く、保合で推移した。 ・原木については、杉は保合から強含み傾向、檜は弱含みで推移した。
	県北地区ブレカット	月間加工坪数は目標の130%を達成。3月の加工予定は見通しが立たない状態である。木材価格は横ばいで推移。
	県央地区ブレカット	2月の加工状況は先月に引き続き大きく減少した。見積物件は多少増えてきた感じだが、加工予定が確定している物件は少ない。
紙・紙加工品	段ボール	昨年より生産量が5～15%少ない状況が続いている。取引先の工場稼働が週4日という会社が3～4社出てきており、先行きも大変厳しいと思われる。また、大手材料メーカーからの値上げの発表があり、今後の収益にも影響が出そうである。
印刷	総合印刷	紙をはじめとする資材関係価格の値上がりによるコスト上昇、ペーパーレス化による需要の減少により収益、資金繰りの悪化が続いている。加えて、零細印刷業者の事業承継問題等もあり、業界全体に明るさがみえない。
窯業・土石製品	陶磁器	現在、春の行楽シーズンに向けて準備を進めているところである。たくさんの方に来ていただけるよう万全な体制でお迎えしたい。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	鉄鋼・金属	鉄鋼	受注量・売上高とも大きな減少はなかった。金属材料は高値で推移しており、その他工業用薬品についても値下がり傾向はみられない。電気代も値上がりし、収益状況に影響している。燃料費をはじめ灯油等の石油製品も高値で推移している。
	一般機器	生産用機械	対象7組合員(製造会社)の売上高は前年同月比で6社増加、1社減少であった。団地全体の売上高は、主要取引先からの受注量が増加したことを主要因として前年同月比で2か月連続で増収となった。組合員の従業員は、正社員数は変わらないが派遣社員数の減少により前年同月比で減少となった。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	販売価格、取引条件、収益状況は不変と回答したが、総じて悪化傾向である。売上高は増加傾向にあるため、しのいでいる状況である。
非 製 造 業	卸売業	生鮮魚介	精算所取引高は前年同月比108.3%。前月同様、取引高は前年同月比では上回っているが、商品単価の上昇の影響で荷動きは伸び悩んでいる。天候不順等の影響で鮮魚関係の入荷が伸び悩んでいる影響もあるため、卸業者・仲卸業者・販売店ともに厳しい状況である。
		米麦	米価上昇が続いており、仕入・販売価格ともに上昇し、売上高自体は増加したものの、利益には繋がらず厳しい状況に変わりない。
		袋セメント	袋セメントの令和6年2月出荷数量は、35千袋、前年同月比90.4%の実績。2月は、県南地区での建設工事需要や、県北地区の太陽光発電周辺工事需要があったことから相応の実績であったが、当組合で扱う袋セメントの値上げ後、競合する量販店袋セメントの価格が低価格で推移していることもあり、前年同月比約10%の減少となった。
	小売業	県北地区共同店舗	売上高は前月同月比98.11%、客数は同110.99%、前年同月の売上高を確保できた店舗は33.3%となった。集客においては、有料のキッズスペースが牽引しており、売上アップには自助努力が不可欠である。
		県南地区共同店舗	2月は閏年のため、1日営業日が増えたため、売上高は前年同月比104.8%となった。寒い日が増加したことにより、客足が減少したためか飲食関係の売上高は減少した。
		家電	組合員には、お客様に対する省エネ家電への買替を積極的に提案するよう呼びかけているが、2月も売上高が伸び悩んだ。組合としては、お客様の困りごとや不便に感じていることに耳を傾け、信頼していただける活動を特に高齢者世帯を中心に行いたい。
		燃料	国の燃料油価格激変緩和策により燃料油価格は抑えられているものの、レギュラーガソリンの価格は170円/Lを超えており、前年同月比で約7円高くなっている。各社とも燃料の販売数量が減少しているため、小売価格を下げて数量を得ようとする廉売業者があり、地元業者は採算販売を行うことが難しい状態である。物価上昇のためのコストアップ、従業員の賃金上昇を行うため、厳しい状況が続いている。
		中古自動車	2月は販売台数が前年同月比91.5%と低下したものの、販売価格が同109.2%と好調であったため、売上高は前年並の実績となった。新車の製造が一部停止になっている影響からか、中古車の販売台数は、1月に続いて前年を上回る良好な実績となっているが、新車製造停止の長期化で中古車が流通不足に陥る懸念があり、引き続き新車供給の動向を注視していく必要がある。
		食料品	2月の売上高は前年同月比93%となり、前年を大幅に割り込んでしまった。要因として前年同月比で来店客数が95%と前年割れたことが大きな要因と考えられる。部門ごとの売上高は前年同月比で、青果92%、精肉93%、鮮魚86%、惣菜95%と軒並み前年を割り込んだことが全体の売上高に大きく影響を及ぼした。上述した部門以外にも牛乳類、ヨーグルト類等の売上高が前年同月比90%となっている。
		野菜・果実	2月は野菜果実合計で前年同月比97.8%の取扱高となった。月頭には節分の恵方巻需要によりキュウリが値を上げたが、暖冬の影響によりキャベツやほうれん草等を中心に単価安となった。上旬の大雪もそれほど影響がなく、単価安のまま推移した。
商店街	水戸	引き続き、人手不足、原材料高騰や水道光熱費の上昇が続いている。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の前年同月比では、普通車・軽自動車ともにほぼ横ばいであった。	
	サービス業 旅館, ホテル	梅まつりや大子来人(袋田の滝ライトアップ)等、多くのイベントが開催され、お客様が増えた。なお、集客地域については、県内及び関東地域が多くを占め、台湾や香港等の東南アジアからのインバウンドが堅調な地域があり、特に台湾からのインバウンドが増えた。一方、人手不足によりの確かなサービス提供に支障をきたしかねない状況のほか、諸物価、人件費の高騰により収益が圧迫され、経営状況は依然として厳しい状況にある。	
	建設業	総合	本年度もあと1か月を残すところとなり、各社年度末工事完成に向け仕事量は確保できている。本年度は工事発注の平準化により年度末に向けての繁忙状況は改善されてきた。また、次年度工事の早期発注も順調にすすんできた。たいへん良い状況である。
		電機工事	電線ケーブル仕入れに関して、未だ納期が不透明で仕事に支障をきたしている。
		県北地区管工事	能登半島地震災害による、水道応急復旧隊の派遣について、茨城県企業局が中心となり、市町村、事業者(指定管工事組合等)からなる水道応急復旧隊が石川県輪島市へ派遣されることとなった。2月29日～3月8日(県南水道企業団)・3月8日～16日(ひたちなか市)・3月16日～24日(水戸市)・3月24日～4月1日(土浦市)
	運輸業	軽貨物自動車	当月の組合員数は103名、車輛台数は132台で前月と比較して1名減少、1台減少であった。また、運送売上高については、前年同月比103.1%であった。全国連合会での当月の組合員数は6,235名、車輛台数7,419台で前月と比較して23名減少、31台減少であった。
一般貨物自動車		主要顧客の発送物量はほぼ横ばいだが、輸送運賃の値上げにより売上高は少し増加した。燃料価格については、高値ほぼ横ばいで推移しており、収益は厳しい状況が継続している。人件費を上げても運転手が集まらず、人員確保が困難となっている。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食回数増要望
	納豆	既に新型コロナウイルス感染症が話題に上ることが少なくなりつつあるものの、一方で経営状況がコロナ禍以前に戻ったという訳ではない。おそらく新型コロナウイルス感染症の流行を契機に習慣的な消費行動が変化した可能性があり、業界全体が徐々にではあってもそのような変化に対応することによって経営を維持してきたと言えるであろう。ただし、現時点ではまだまだ試行錯誤の段階であり、行政もポストコロナに応じた様々な支援を行ってはいないものの、なかなか中小企業にとってはそれらの支援を経営課題にマッチングしきれない状況もあるので、案内や指導の強化をお願いしたい。
小売業	燃料	揮発油税に課税している二重課税の廃止 燃料油価格激変緩和策の継続と出口戦略の明確化 物価上昇、円高への対策、コストアップ受入れ対策
建設業	総合	工事発注平準化と早期発注のため各社余裕をもって工事施工ができた。そのために次年度工事を余裕をもって受注できる。早期発注工事の工事獲得競争は激しい、そのためダンピング受注は常態化している。仕事がない状況よりはよいが、利幅が減少するため同一会社が複数工事を受注してしまうケースが目立つ。各社に工事が行きわたる施策をお願いしたい。

月次景況調査 2月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比
景 況	▲ 26.5	▲ 12.0	▲ 14.5	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 21.7	▲ 8.3	▲ 13.4
売 上 高	▲ 6.1	▲ 14.0	7.9	▲ 23.1	▲ 26.9	3.8	13.0	0.0	13.0
収 益 状 況	▲ 24.5	▲ 26.0	1.5	▲ 30.8	▲ 30.8	0.0	▲ 17.4	▲ 20.8	3.4
販 売 価 格	20.4	28.0	▲ 7.6	15.4	11.5	3.9	26.1	45.8	▲ 19.7
取 引 条 件	▲ 8.2	▲ 12.0	3.8	▲ 11.5	▲ 11.5	0.0	▲ 4.3	▲ 12.5	8.2

# 中小企業月次景況調査(令和6年2月)DI値(前年同月比)

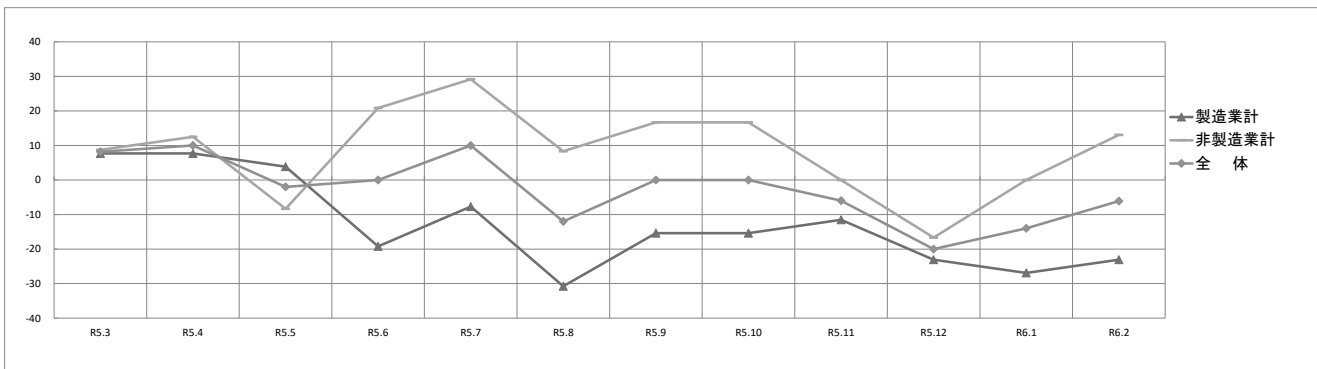
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況																	
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)																				
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数										
製造業	食料品	△ 33.3	1	2	3	6	△ 16.7	1	3	2	6	50.0	3	3	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	1	4	1	6	△ 33.3	0	4	2	6	0.0	2	2	2	6	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	0	5	1	6				
	繊維工業	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3				
	木材・木製品	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3				
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1				
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1				
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	40.0	2	3	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5				
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1				
	電気機器	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1				
	輸送機器	0.0	1	1	1	3	33.3	2	0	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3				
製造業計	△ 23.1	4	12	10	26	△ 3.8	4	17	5	26	15.4	6	18	2	26	△ 11.5	1	21	4	26	△ 30.8	2	14	10	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 19.2	3	15	8	26	△ 7.7	2	20	4	26	△ 30.8	0	18	8	26					
非製造業	卸売業	100.0	3	0	0	3	0.0	0	3	0	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3									
	小売業 (商店街含む)	△ 18.2	2	5	4	11	0.0	0	11	0	11	18.2	4	5	2	11	△ 9.1	1	8	2	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 27.3	0	8	3	11									
	サービス業	50.0	1	1	0	2	X				0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2					
	建設業	△ 20.0	0	4	1	5					20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5					
	運輸業	100.0	2	0	0	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2
	非製造業計	13.0	8	10	5	23					0.0	0	14	0	14	26.1	8	13	2	23	△ 4.3	1	20	2	23	△ 17.4	2	15	6	23	△ 8.7	0	21	2	23	△ 17.4	1	17	5	23	△ 21.7	1	16	6	23					
全体	△ 6.1	12	22	15	49	△ 2.5					4	31	5	40	20.4	14	31	4	49	△ 8.2	2	41	6	49	△ 24.5	4	29	16	49	△ 14.3	0	42	7	49	△ 19.2	3	15	8	26	△ 12.2	3	37	9	49	△ 26.5	1	34	14	49	

## D I 値推移表 (R5. 3月 ~ R6. 2月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2
食料品製造業	33.3	33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 16.7	33.3	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	0.0	0.0	15.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 30.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0
製造業計	7.7	7.7	3.8	▲ 19.2	▲ 7.7	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 23.1
卸売業	0.0	▲ 66.7	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	▲ 66.7	33.3	100.0
小売業(商店街含む)	9.1	16.7	▲ 25.0	8.3	16.7	16.7	33.3	0.0	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 18.2
サービス業	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
建設業	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	▲ 40.0	40.0	40.0	▲ 20.0	0.0	40.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	100.0
非製造業計	8.7	12.5	▲ 8.3	20.8	29.2	8.3	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	13.0
全体	8.2	10.0	▲ 2.0	0.0	10.0	▲ 12.0	0.0	0.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 14.0	▲ 6.1

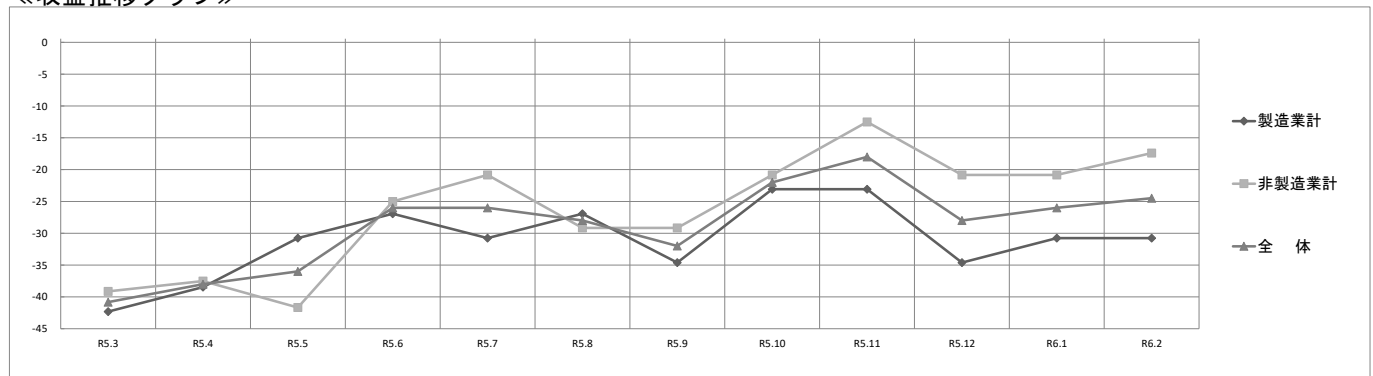
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7	33.3	0.0	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 50.0	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 40.0	▲ 40.0
製造業計	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 41.7	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 45.5
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0
建設業	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 39.1	▲ 37.5	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 17.4
全体	▲ 40.8	▲ 38.0	▲ 36.0	▲ 26.0	▲ 26.0	▲ 28.0	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 26.0	▲ 24.5

### 《収益推移グラフ》

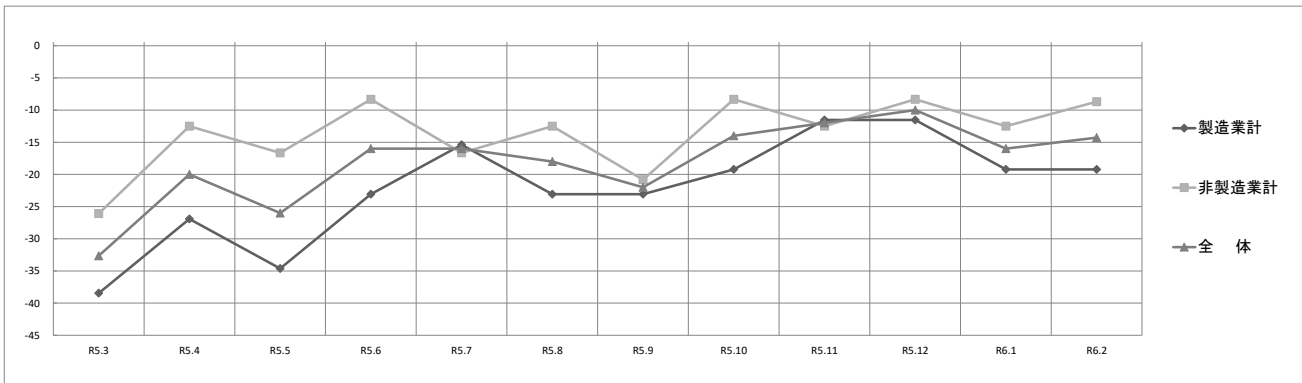


## D I 値推移表 (R5. 3月 ~ R6. 2月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 15.0
製造業計	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 19.2
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 18.2
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 26.1	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.7
全体	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 26.0	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 22.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 16.0	▲ 14.3

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R5. 3	R5. 4	R5. 5	R5. 6	R5. 7	R5. 8	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 66.7	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 35.0
製造業計	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 30.8
卸売業	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 25.0	8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 27.3
サービス業	▲ 100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 17.4	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	4.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 21.7
全体	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 24.0	▲ 18.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 26.5

### 《景況推移グラフ》

